

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年12月6日(水) 13時00分～13時10分、13時15分～13時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、鈴木安全審査
専門職、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 原子力事業統括部 原子力土木部長
他10名（うち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所 火山影響評価について

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	すみません、減少規制庁地震津波審査部門の鈴木でそれでは今から泊発電所過大評価についての
0:00:13	面談を行います。
0:00:15	資料としては、本日付でが影響評価のコメント対応のスケジュールですね、状況ということで資料がありますので、
0:00:25	北海道根井区の方から説明をお願いします。
0:00:34	北海道電力の松村です。本日の面談、よろしくお願いいたします。
0:00:39	火山について現地調査のコメントを踏まえて、今後のスケジュール等々を整理しましたのでご説明いたします説明は箕輪からお願いいたします。
0:01:00	はい。
0:01:01	はい。北海道電力箕輪ですよろしくお願いいたします。資料、
0:01:06	泊発電所の火山影響評価についてという形で配布させていただいております。
0:01:12	めくっていただきまして2ページ目、火山影響評価のスケジュールという形で、
0:01:19	今後のスケジュールについてまとめてございます。
0:01:23	まず、火山影響評価のうち立地評価、影響評価モニタリングとございますけれども立地評価につきましては、これまで10月6日の審査会合まで、
0:01:32	説明してございますけれども、影響評価、火山モニタリングに関しては、
0:01:37	概要版の説明にとどまっているというような状況になってございます。
0:01:41	したがって、今後説明が必要な項目という形で、こちらに挙げている四つの項目、考えてございます。
0:01:49	一つ目が、10月6日審査会合における指摘事項への回答。
0:01:54	二つ目が、10月3031日の現地調査における指摘事項への回答。
0:01:59	三つ目が、営業課の説明、四つ目の火山モニタリングの説明と、
0:02:04	という形でこの栄誉4項目、考えてございます。
0:02:08	これらの項目につきましては、効率的な審査の観点から、計2回の審査会合で、
0:02:14	1回目、来月、来年の2月長女2回目が4月上旬。
0:02:20	この2回の審査会合で順に説明することを考えてございます。
0:02:25	1回目の審査会合におきましては、先ほど挙げた一番2番の各指摘事項のうち、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:31	火山影響評価全体の評価、
0:02:34	それと、評価の基礎に関わるものごとを回答した上で、影響評価、火山モニタリングについて説明することを考えてございます。
0:02:43	2回目の審査会合におきましては、各指摘事項のうち、個別評価の説明性向上に関わるもの、こちらを含めて、平均評価火山モニタリング全体を意識で説明することを考えてございます。
0:02:56	影響評価と、モニタリング火山モニタリングにつきましては、関連する指摘事項に対する検討も含めまして、
0:03:03	1回目2回目の審査会合で、必要に
0:03:06	進捗に応じた、
0:03:08	範囲を説明することを考えてございます。
0:03:11	まず1回目で説明する範囲としましては、影響評価に関しまして、
0:03:18	コガ火砕物以外の火山事象による、
0:03:22	影響評価、こちらについては全体を説明することを考えてございます。
0:03:26	降下火砕物の影響評価としましては、
0:03:29	層厚評価として、文献調査地質調査の結果を踏まえた層厚。
0:03:34	そうすると、降下火砕物シミュレーションによる層厚と、
0:03:38	大きく二本立てで考えてございますけれども、
0:03:41	1回目の審査会合におきましては、文献調査、地質調査の結果を踏まえた層厚、こちらの全体、そして、
0:03:50	降下火砕物シミュレーションにつきましては、
0:03:53	対象の噴火の抽出まで説明することを考えてございます。
0:03:59	対象の文化につきまして、クッタラ登別火山群についてこちらの資料の全体の
0:04:05	構成変わった関係でこちらの方で、
0:04:10	詳しくウエキの中で、活動可能性に関して、
0:04:15	検討。
0:04:16	説明するものになるんですけども、作ったの、KT7につきましては、同規模の可能性を否定した上で、それ以降の火災噴火について、代表性のある噴火をシミュレーション対象として、
0:04:30	抽出するというところまで説明することを考えてございます。
0:04:34	1回目の審査会合でモニタリングに関しましては、
0:04:40	立地評価と連動する、
0:04:43	検討対象火山、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:46	教えて監視対象火山の抽出、こちらまで1回目の審査会合で説明することを考えてまして。
0:04:52	以降の監視項目、或いは基準等については、2回目で説明すること。
0:04:58	考えてございます。
0:05:01	資料今のが2ページの内容でして3ページ以降に確保していただいている指摘事項。
0:05:08	掲載してございます。
0:05:10	それぞれのセキの現在の状況について、
0:05:14	も含めて説明をさせていただきます3ページをお願いいたします。
0:05:18	3ページこちらが10月6日の審査会合でいただいている指摘。
0:05:22	三つ、新結果でいただいているものは三つ載せてございます。
0:05:27	こちらについてはいずれも現在、机上検討、行ってまして。
0:05:32	いずれもカドイ強化全体の評価に関わるものと、いう形ん位置付けになりますので、すみません規制庁成型施設これ何か指摘事項を1個読み上げ初めて読み上げるつもりはないですか。んですけど。
0:05:47	いや、
0:05:48	基本的に、ちょっと1ページ2ページ目から2ページ目のなんか①から④の分類と、後の、
0:05:55	何か3ページ以降とごく指摘事項の対応関係は、ちょっといまいよくわからないんですけど、とりあえず青と緑色が分かれているものがあって、
0:06:05	この先にやるものと後にやるものを分けている考え方というか、
0:06:09	後に持ってかなきゃいけないってところ早くやらなきゃいけない理由とか、はい。或いは、何か調査が必要なんで分析が必要なんで後持ってきますとか、
0:06:17	ミイはこれ基準適合上後ろの工程、このコメンター先にいいコメント回答しておかないと、全体の工程を後ろ倒しになる恐れがあるのでこれは急ぎますとか、ちょっとそういう考え方を、
0:06:29	聞かせてもらっていいですか。なんか当然1回で全部が終わらないっていうのはわかりきって話で。はい。それをこの二段階に分けていくってところのその選別の考え方。
0:06:39	そこをしっかりと聞かせてもらっていいですか。
0:06:42	色分けがされてるのもわかってるわかりました。はい。
0:06:45	選別としては2ページ目の
0:06:50	はい、3マル目4番目でも大きく大きな考えてるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:55	火山評価全体の評価に関わるもの、その指摘が、評価全体に関わるもの或いは、
0:07:02	評価の基礎と、
0:07:03	に関わるもの噴出物の分布ですとかそういう評価の基礎に関わるものについては、
0:07:09	1 回目、
0:07:11	で回答することを考えてございます。2 回目としているものについては、個別内容の説明性の向上という形で、
0:07:21	評価全体というよりは、その個別で、当社で説明してる内容の説明性向上、
0:07:27	関わるものという形で位置付けをしてございます。
0:07:33	大きな考えとしては、
0:07:35	そのような形で二つに分けていると。
0:07:38	いう状況になります。
0:07:49	これ先に急ぐものということの中で、
0:07:55	特に、
0:07:57	新しくデータをとった分析したり、解析したいというものはないのかな。
0:08:04	今ある手持ちのもので、
0:08:06	中で対応っていう形ですか。
0:08:09	指摘事項を踏まえて追加で露頭観察したり、分析、
0:08:18	すいませんこれ規制庁名倉ですけど、誤記がありますよね 2 ページの、
0:08:23	影響評価のところ②のうちじゃなくてこれ①のうちじゃないですか。
0:08:34	読み込み。
0:08:38	②のが影響評価ナンバーワンって書いてあるのは①のうちじゃないですか、②で、6-1 の、
0:08:47	ソネシマここ 01 の審査会合の、
0:08:52	いただいてる営業課です。失礼しました。
0:08:55	規制庁名倉ですわかりました。
	一時中断
0:00:02	すいません、今から再開します。
0:00:05	すいませんちょっと途中中断しましたけれども、ちょっと説明ですかね。
0:00:10	今、
0:00:13	コメント回答の、
0:00:16	状況ですいませんちょっと説明の途中で中断してしまったので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:24	御説明なければ終わるぐらい。
0:00:28	よろしいですか。はい、渡辺です。1回目2回目の
0:00:33	考え方っていうんですかね。
0:00:35	ことを補足させていただくと、
0:00:39	1回目2回目に返そうと指摘事項のいずれもが、追加の分析とか、露頭観察とか、そういった追加作業は必要なものがあります。その中で1回目2回目に仕分けてる。
0:00:52	大きな考え方としては、先にできるからそっちを1回目に回そうというものではございませんで、
0:00:58	分析追加した中で、直接火山影響評価の評価に資するものとか、その評価にするために重要なデータとなりうるものっていうのは、極力1回目で、
0:01:10	返さないで議論にならないんじゃないかと思ってます。対して2回目は、
0:01:15	既存で説明してる内容である程度説明はできてると思ってるんですけども説明性の向上、
0:01:22	を図るという観点のものが2回目に回せばいいかなというような考えでございました。
0:01:27	3ページに10月6日の会合の指摘事項を載せてますけど、こちらについてはいずれも1回目と考えている理由は、特に指摘の一つ目というのが、資料の構成に大きく関わってきますので、
0:01:40	これは1回目で返さないといけないと思っていることと、10月6日に受けている指摘になりますので、まず1回目で返すとか、
0:01:48	受ける時期から指摘を受けている時期から考えると、数字だろうと思ってまして、10月6日の会合の指摘は意識、1回目で返そうと考えているものです。
0:01:57	4ページ5ページに、
0:02:00	10月の現地調査のものを一式整理して色分けしてございます。この色分けの考え方が先ほど申しました通り例えば具体的な例でいくと、
0:02:10	一番の幌似露頭位置というところが、既往の知見で火砕流の可能性があるとされていて敷地近傍の中に入ってきますので、当然ここについて、どういった評価をすべきかということは、
0:02:22	1回目ですべき内容になってきますので、必要な分析、観察を速やかに行った上でしようと思っていて、直接的に火山の影響評価、その評価をするためのデータに資するというものになってくると思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	対して緑字にしているもの、例えば 5 番のバイス黒子 9 という部分については、火災の可能性があるんじゃないか、降下火砕物の可能性があるんじゃないかという指摘は現地調査で受けてございます。
0:02:47	位置関係としてここがまず敷地近傍に入っていないというところにかんがみまして、または火災の可能性のあるものについても、仮にそうなたとしても層厚が薄いということと、
0:02:58	3 地点ある中の 1 点でのみ確認されていると、分布度合いが限られると思われることから、
0:03:04	後の説明に回目の説明にして、させていただいても、火山影響評価全体としては大きなインパクトはないんじゃないかと考えている関係でこの緑にしているものになります。
0:03:14	また、7 番といったところで、野塚層の中のクリスタルアッシュの可能性のあるものという指摘を受けたものについても、こちらも追加分析等をしていて、降下火砕物の可能性は確かにあるんですけども、
0:03:27	現状層厚として、最大考えても 15 センチになるだろうというところで、
0:03:31	既往の降下火砕物の影響評価の、今、最大ですと、敷地の F1 開削の失われた甲斐博士、海食の火山灰が 23 センチということなので、
0:03:42	その内数の中に収まってくるんじゃないかというふうに考えているもので、
0:03:46	後程 2 回目の説明でも、
0:03:48	火山影響評価上は大きなインパクトにはならないんじゃないかと考えているところでそういった影響の度合いを踏まえて、1 回目 2 回目というものを仕分けたというところで、分析等が早くできるから 1 回目にしたとかそういう考えではどちらかというとなくてですね。
0:04:03	影響度重要度にかんがみて 1 回目 2 回を仕分けたということになってございます。すいません、以上となります。
0:04:14	成長するケースはい。ありがとうございます。
0:04:17	あと、なのでちょっと少なくとも緑にして 2 回目、
0:04:23	入れているもので、これは 1 回目に、
0:04:26	早く確認しないとというものがあるかという点で見ると、今あったようなワイスホルンオク 6 とかですね、何とか最終評価に影響しないというか、
0:04:36	いずれ 2 の結果であっても、
0:04:39	あまり最終結果に影響しないものはさっき、
0:04:42	ことで、
0:04:44	んかな、5 ページのところも、基本は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:49	この結果いかんでどうというものでも、
0:04:53	どうかは何か。
0:04:55	IT部とかな。
0:04:58	黒川の話は、
0:05:01	どちらかというと
0:05:03	地質敷地の敷地周辺の地質地質構造の方の分野に影響してくるものかなと思ってまして。そうですね。あそこにどうはねられるのかというか、
0:05:13	どこかには資料にははねるんだけど、それがいわゆる地域の地質構造の評価にはねるかっていう視点で、一応そういうものはないという見込みでは聞いてますけど。
0:05:25	はいはい。そこをやっぱり優先順位としては下げると。
0:05:29	で、この 12 月 18 日の週に高青字のものは、
0:05:36	これわあ、
0:05:38	青字のものすべてが 12 月の 18 日の週。
0:05:43	なのか 12 月の 18 日の週から順次なのか、この辺りというのわかりますかね。今のところ青字は全部、
0:05:53	出てくるのかな、モニタリングモニタリング新規だと思いますけど、青字のコメント回答っていうのは、北海道電力のワタナベ津アノ淡路のものについては基本今鋭意再観察なり分析してるものもあるんですけども、
0:06:04	すべて載せる形でお示したいと、現状考えているものになっております。
0:06:11	はい、では、一部は観察データ収集しなんか整理中とかっていうことではなくて、
0:06:17	一旦この 12 月 18 日でそういうものも終わったもの。
0:06:21	しっかりとしたもので 12 月 18 日に出てくる予定。
0:06:27	なんでちょっとそこの辺りが、そこまでをやると、実はここのこのコメント回答のこの※幾つかあるうちのこれは、
0:06:35	少し実は分析が出ていて、
0:06:38	一番時切り作業を切り引っ張らせてるんですとか、ちょっとそういうのがありますかということなんだけど、あた北海道電力の渡辺です。12 月に出そうとしてるものな中で、作業として、物量が多いというのはやはり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:53	一番のコロニーの労働関係の例かなあと、現地調査の方とですね。そうですね 12 月、10 月にいただいたものについてはこれ基本基準の検討になると思ってますので、
0:07:06	こちらが間に合わないとかってということにはならないと思ってください。
0:07:12	そうすると、4 ページのナンバーワンの方ですか。
0:07:17	現地調査のナンバーワンの頃に、
0:07:21	この辺りですか。
0:07:23	北海道電力の渡辺さんの現状、物量として低位でわあ、一番のウェイトは大きいかなとは思ってございます。
0:07:32	今時点でこれは間に合いませんというのは決してないんですけども、この今後の見立てとして今物量がかかっているのは、一番であるかなというふうに思っている状況です。
0:07:44	これもでも一応、今日が、カード 10 日 1 週間ぐらいいいし、なので、資料の文字化する。
0:07:52	時間はあると、作業はあるはずなんでこの分析、
0:07:56	当実施費の分析というのは、
0:07:59	一応まだ作業としては続いて、
0:08:01	分析終わったんであとはその使用として整理してるんで、方法マニア済ますぐらいの感覚なのか実はまだ鋭意分析してますなのか、よるんですけど、
0:08:10	いずれもですね鋭意分析という状況です。わかりました。では分析作業を進めていて、その通り予定通りいけば、一応 18 日の週だったかな。
0:08:21	第 2 はこの青字のコメント回答のものは、
0:08:24	きちんと資料化して、
0:08:29	そのあたり、全体後の工程だったり、或いは 1 回目のコメント回答だと言っても結構好立地評価のつけ残しと影響評価全体とモニタリングってことで、
0:08:41	プラスボリュームがある。
0:08:43	話になるので、ちょっと最終どうするかこっちも考えなきゃいけないとは思うんですけど、少しコメント回答の個数として、コメントの数としてはあるので、
0:08:54	それをもしどれか一つの分析作業が遅れてるんで、
0:08:58	1 週間 2 週間さらに遅れていってとかと出すとか、
0:09:02	例えばクオリティ評価と影響評価で少し区切って出すのかとか、ちょっとそこら辺は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:07	もしこの工程通りうまく作業が進まなかった場合にはどうするかってのはもう、
0:09:13	あの会合としてこの会合にかけるっっちゃうことだと思うんですけど、その資料を束でドカッと出すのか。
0:09:18	どうする。
0:09:21	歯抜けだと説明していただければ、やっぱりまず必要があるかもしれないし、
0:09:27	何かネックになってる作業のために、
0:09:29	全部おくらせるのかっていうのがあるんだったら、そこら辺は少し状況を見て、
0:09:36	スケジュールをですね、考えてもらってまた、こういう面談なんかで、先の見通しなんか、
0:09:43	お話を聞かせてもらえばと。
0:09:46	はい。他ありますか。
0:09:51	北海道電力の渡部です。はい。
0:09:53	混合の流れとして、何かが間に合わないって可能性は否定はしきれないんですけどもその場合に、それが無いから資料の提出をおくらせまస్తుっていうのも、
0:10:03	違うかなと思ってございまして、ある程度説明ができるっていう状況にあるならば、そこはまだやってる最中としながらも、資料交わして、ご説明するということを模索していきたいと考えてございます。以上です。
0:10:20	はい。
0:10:21	完全に五月雨式3回部会に分けられてっていうとそれはそれでこっちも困るんですけど、とってずっと何かのために、一つの分析のために留まっています、
0:10:32	入戸カットを持ってこられると、それはそれで、会合全体がね、一応見てしまう。
0:10:38	ちょっとそこら辺は状況見ながらまた柔軟にご相談ください。
0:10:42	はい。
0:10:43	特に、
0:10:44	ありますでしょうか。なければ、
0:10:48	日本店の方からも確認なんですか。大丈夫ですかね。はい。
0:10:53	すいませんちょっと途中中断してしまいますけど、よろしければ以上で、はい。みんな終了します。お疲れ様でした。
0:11:00	様でした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。